

私たちが未来を変える！
すべての労働者の「底上げ」「底支え」「格差是正」と働き方の見直しで！

連合茨城「地場共闘センター」情報

TEL : 029-231-2020 FAX : 029-227-8610 Eメール : info@ibaraki.jtuc-rengo.jp

No.4

宛先：地場共闘組合・構成組織・各地域協議会

発行者：
高木・綿引

2020年5月29日（金）

2020年春季生活闘争 回答妥結額 4,865円（賃金改善分 1,679円）

1. 2020 春季生活闘争速報_NO.4（5月29日集計分）

- (1) 賃金関係 ① 要求組合数 …………… 57 組合
② 回答妥結数 …………… 46 組合

【業種別集計】

業種別	2020年 集計組合		2020年 回答額（加重平均）			昨年対比 計①-②	2019年 回答額（加重平均）		
	組合数	人員	計①	定昇分	賃金改善① (賃金改善①-②)		計②	定昇分	賃金改善②
計	46 /86	5,985 人	4,865円 1.87%	3,186円	1,679円 ベア 334円 (対比 195円)	▲357円 ▲0.13% <small>対</small>	5,222円 2.00% 77組合 8,787人	3,738 円	1,484円 ベア 244円 (対比 151円)
製造	24 /39	3,273 人	5,021円 1.93%	3,637円	1,384円 ベア 174円 (対比 205円)	▲372円 ▲0.07% <small>対</small>	5,393円 2.00% 39組合 5,241人	4,214 円	1,179円 ベア 263円 (対比 ▲362円)
商業・流通	5 /8	1,529 人	5,371円 2.10%	2,659円	2,712円 ベア 483円 (対比 ▲360円)	804円 0.33% <small>対</small>	4,567円 1.77% 7組合 1,780人	1,495 円	3,072円 ベア 244円 (対比 1,084円)
交通・運輸	4 /4	182 人	3,585円 1.82%	2,123円	1,462円 ベア 0円 (対比 1,055円)	68円 0.03% <small>対</small>	3,517円 1.79% 3組合 148人	3,110 円	407円 ベア — 円 (対比▲1244円)
その他 ※下記以外	4 /12	551 人	4,419円 1.88%	3,539円	879円 ベア 879円 (対比 438円)	▲1,392円 ▲0.61% <small>対</small>	5,811円 2.49% 7組合 963人	5,370 円	441円 ベア 91円 (対比 177円)
自動車学校	6 /19	90 人	5,055円 1.59%	4,815円	240円 ベア 0円 (対比▲615円)	▲550円 ▲0.41% <small>対</small>	5,605円 2.00% 18組合 290人	4,709 円	897円 ベア 0円 (対比 885円)
電気・ガス	3 /3	360 人	5,522円 2.04%	2,600円	2,922円 ベア 586円 (対比 2,085円)	3,140円 1.16% <small>対</small>	2,382円 0.88% 3組合 365人	1,555 円	827円 ベア 827円 (対比 607円)

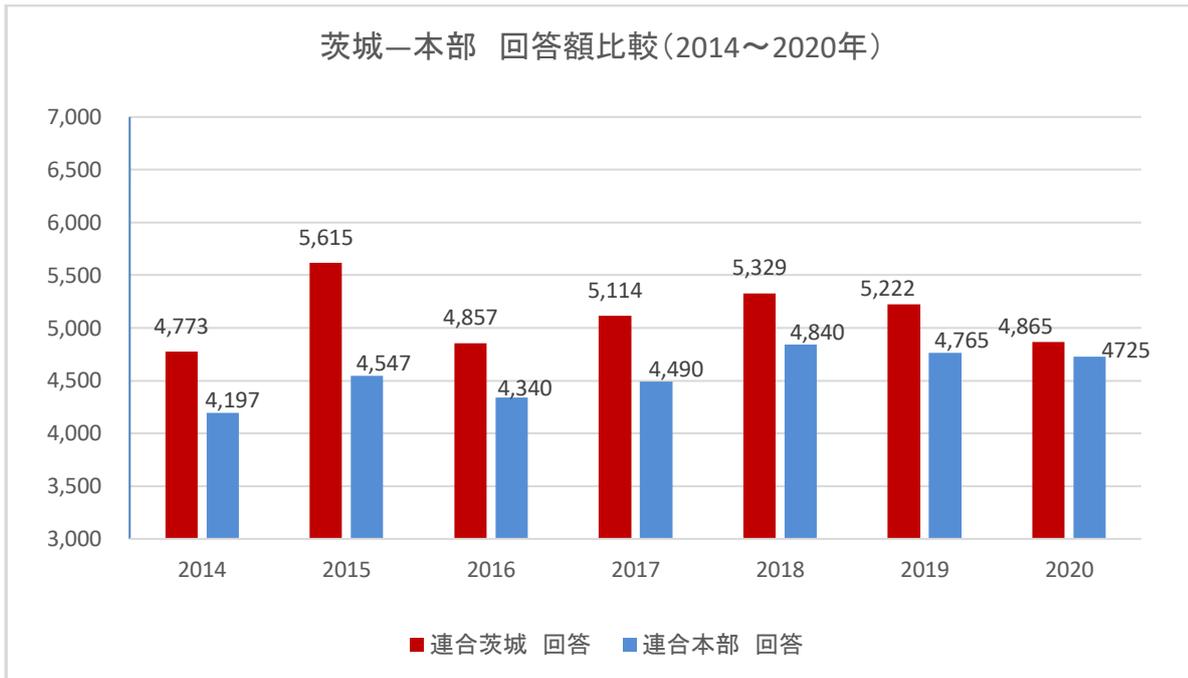
※ 2020年と2019年で集計対象組合が異なるため、「定昇分」と「賃上げ分」の昨年対比は整合しない。

2. 添付資料

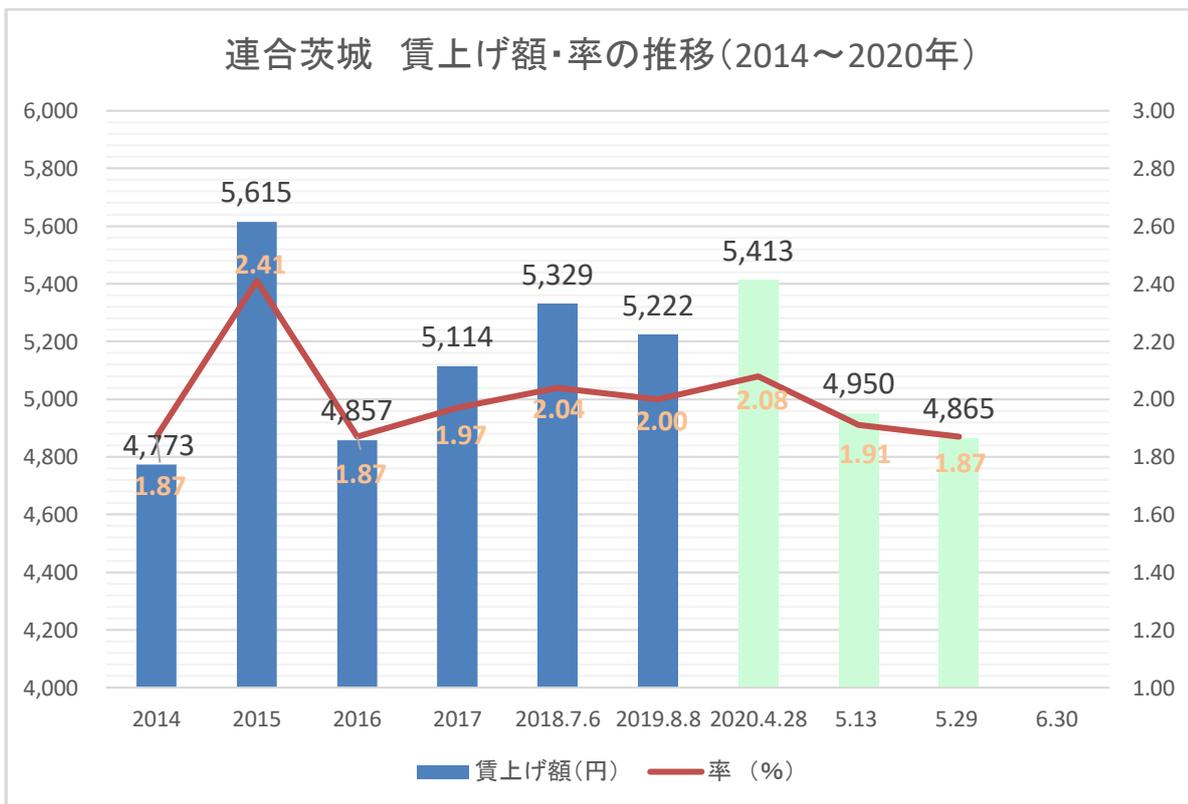
- ①連合茨城「地場共闘センター」2020 春季生活闘争 単組別要求妥結内容集計表 No.4
②連合本部 5.11 プレスリリース【2020 春季生活闘争 第5 回回答集計結果について】

日本労働組合総連合会茨城県連合会（連合茨城）
電話:029-231-2020 FAX:029-227-8610
Eメール:info@ibaraki.jtuc-rengo.jp
扱い：事務局長 高木 英見
副事務局長 綿引 哲也

【連合茨城一本部の回答額比較】



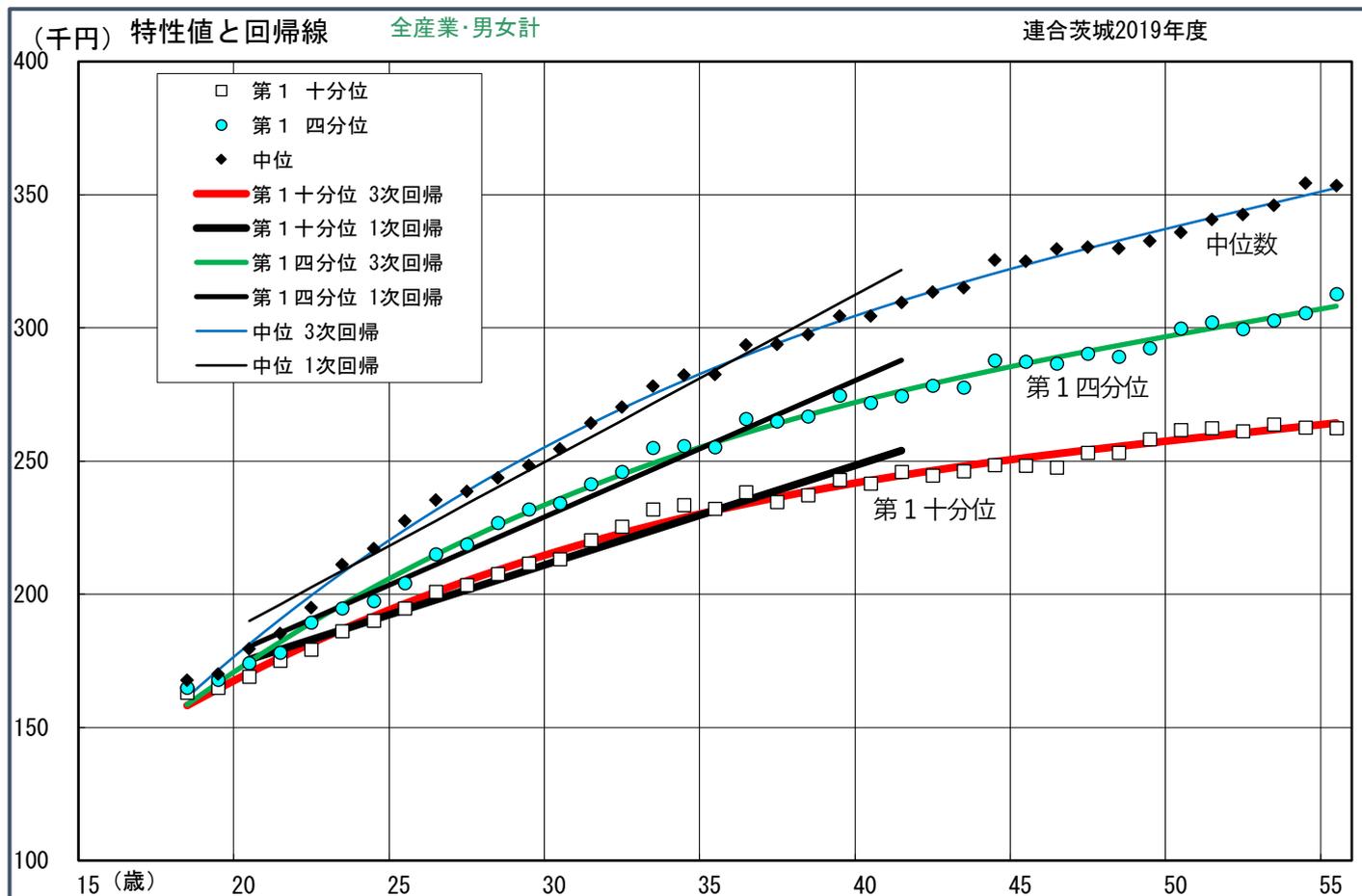
【連合茨城 2014～19年・2020年回答額との比較】



【参考①】 2019年4月以降の賃金調査分析結果（58単組 32,901名）

①特性値と回帰線（全産業・男女計）

賃金特性値表から「第1十分位」・「第1四分位」・「中位」の各1次回帰、3次回帰を示した賃金カーブ。



第1十分位：32,901名の賃金の10%目にあたる水準

第1四分位：賃金の25%目にあたる水準

中位数：賃金のちょうど中間、50%目にあたる水準

【各組織でチェックしてください】

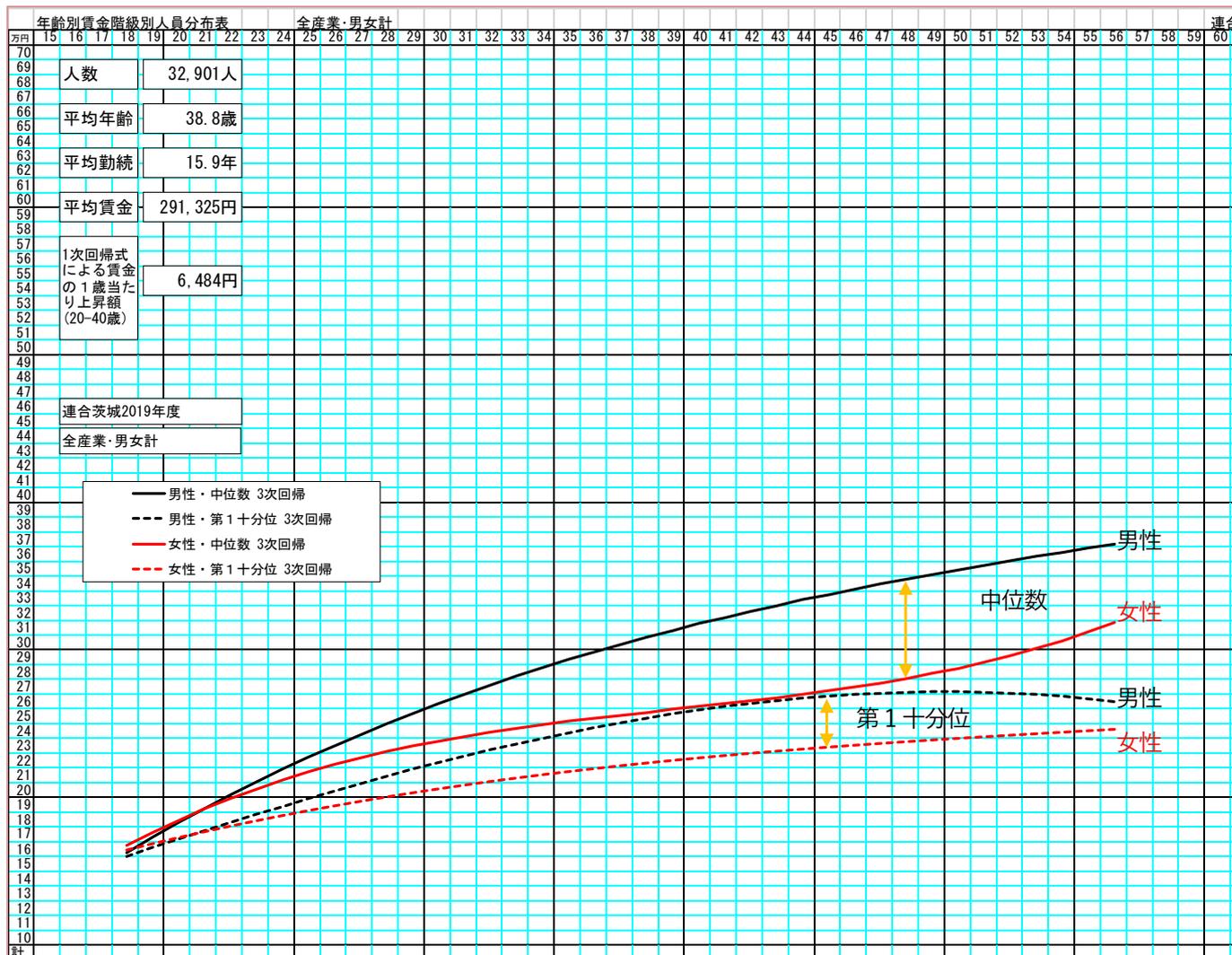
- 1：上記グラフは1歳刻みに記されているので、各組織の年齢別平均賃金等を、グラフに直接プロットしてみると。（自組織の賃金実態と比較できる。）
- 2：組織の賃金実態が茨城の水準とどれくらい差があるか？
上回っているのか？下回っているのか？確認が必要である。（どこの分位数に位置しているか。）
- 3：各産別本部等で賃金調査をしている内容と連合の賃金調査は同様である。
産業内の比較は必須であるが、それと同時に地域・地場相場との比較も必要である。

（サプライチェーン全体で賃上げをするためには、各産業の実態を反映する地域・地場相場にも各々の賃金データが必要になる。）

※茨城の地場相場を開示することで、未組織企業・組合への波及させることも目的の一つ。

【参考②】

個別賃金調査から男女間の賃金実態を可視化すると・・・。



茨城の男女間格差は上記の様に判明した。

第1十分位（10%目）の男女間の賃金格差 ⇒ 最大値 45歳 約34,000円の差
 中位数（50%目）男女間の賃金 ⇒ 最大値 48歳 約66,000円の差

※連合の賃金調査は、組織別に男女間格差の分析が出来る。

比較できる項目：男女間・規模間・学歴別・業種別・地域別等

【地域ミニマム運動へのお願い】

連合茨城では、地域ミニマム運動（個別賃金調査・分析）を実施しています。その取り組みについては、各組織が賃金データを提供することで自組織の賃金水準の分析・前年賃金との比較・茨城の地場相場との比較が可能になります。【参考①・②】

（地場共闘Cエントリー組合にも地域ミニマム運動への取り組み参画、賃金データ提供を求めます。）

連合茨城8月の執行委員会で最終確認し、各産別経由で依頼する予定です。

・受付期間：8月20日～10月末